

〈九州大会報告〉

第七回全九州高等学校総合文化祭大分大会報告

青豊高校 岡部 桂子

令和五年十二月八日（金）～十日（日）に大分県で行われました、第七回全九州高等学校総合文化祭へ参加して参りました。

○十二月八日（金）

総合開会式（於…ホルトホール大分）

○十二月九日（土）

席上揮毫大会（於…レゾナック武道スポーツセンター多目的競技場）

生徒交流会（於…大分県立情報科学高等学校）

○十二月十日（日）

作品講評会・表彰式・閉会式

（於…大分県消費生活・男女共同参画プラザアイネス）

席上揮毫入賞作品鑑賞（於…大分県立美術館OPAMアトリウムプラザ）

【席上揮毫大会】

大分駅より皆でシャトルバスにて会場に向かいましたが、大変立派な競技場で、生徒達はこのびのびと作品作りができたと思います。臨書作品で九州大会の出場権を獲得しても、席上揮毫大会では全員が当日配布された課題を、二時間以内に創作し仕上げることになります。大分県や長崎県は創作ではなく臨書作品のみがOPAMの展示会場に並んでおり、当日揮毫風景を拝見し、生徒の皆さんの創作力に驚き、日々臨書と共に創作にもかなり力を入れて練習をしているのだらうと目を見張りました。

県ごとに書風があると感じましたが、個人的には王鐸や傅山など明清時代を感じさせる三～四行の行草、配字・字の大小がやや揃い整然とした調和体、天発神識碑風、楊峴風、仮名の扇面といった作品に注目しました。これほど完成度の高い作品を、高校生が揮毫する様を見て心底驚くと共に、普段の部活動でいかなる取組をされているか、勉強させて頂きたいと感じました。

【生徒交流会】

「竹細工に作品を飾ろう」という趣旨の元、「かぼす」や「からあげ」など大分県の名産が名付けられた班に分かれて、和紙葉書に好きな言葉を書き、大分県の特産工芸品である竹細工に書作品を飾り、鑑賞し合いました。中には班で仲良くなった生徒同士が、互いの名前を葉書に寄せ書きするといった光景も見られ、生徒達にとって大変思い出深い交流となったと感じました。

【全体を通して】

今回は大会前に錬成会を設けて頂き、生徒達はより絆を深めることができましたと感じました。関係の先生方に心から感謝致します。最終日の作品講評会が大変印象的で、書道における「守破離」を生徒と共に改めて勉強させて頂きました。簡単に恐縮ですが、本大会でご尽力頂きました全ての先生方、保護者の皆様、大分県運営関係の皆様に心よりお礼を申し上げ、報告とさせていただきます。

